

## 6日 交通安全を呼びかけ セーフティコールあつま

春の交通安全の一環として、厚真市街地で「セーフティコールあつま」が行われ、町内各団体・事業所などから約80人が参加しました。

冬に後戻りしたかのような雪が降る中、参加者は「シートベルト着用」「ゆっくり走ろう」など書かれた旗を広げ、ドライバーに安全運転を呼びかけました。町交通安全推進委員会会長の宮坂町長は「残念ながら町内で昨年は2件3人、今年は1件1人の方が交通事故でお亡くなりになりました。皆さんのパワーで交通事故は関係ないという思い込みを払しょくするような運動を展開していきたい」とあいさつしました。



## 10日 山林火災を想定した春季消防演習を実施

厚真消防団（五十嵐次男団長）と胆振東部消防組合厚真支署（海沼和三支署長）による春季合同模擬火災訓練が本郷地区の山林で行われ、職団員73人が参加しました。

春の火災予防運動に合わせ毎年訓練を実施。今年は山林火災を想定し、職団員は背負い式消火水のうや車両を使い放水しました。参加した職団員は指揮者の号令に従い、本番さながらの訓練に励んでいました。



## 20日 高齢者大学へ75人が入学

平成30年度町高齢者大学の入学式が総合福祉センターで行われました。今年度の学生は新入生が加わり、計75人。

同大学では2月を除き毎月、防犯や介護予防の学習のほか、生け花教室や研修旅行などを通して、生きがいくくり・健康づくりを図ります。

入学式では、学長の宮坂町長が「さまざまなことを学びながら視野を広げて、より人生を豊かにしてほしい」と式辞を述べました。



今年度の新入生

## 24日 小学校の英語教育の指導方法を学ぶ 英語授業づくり研修会

平成30年度第1回英語授業づくり研修会が総合ケアセンターゆくりで行われ、町内小・中・高校で英語の授業を担当する教諭ら約35人が出席しました。

この研修会は町内小学校の先生方の英語教育への理解を深め、英語活動・授業力の向上のために開催。町英語教育推進コーディネーターの根岸清人教諭や町内中学校の英語教諭2人が講師となり、児童の発達段階に合わせた英語の授業の進め方や発話を見とるための工夫などを実践しながら研修しました。

町英語教育推進委員会の池田健人委員長（厚真中央小学校校長）は「今日の研修会をきっかけに、今年度もオールあつまで英語教育を推進していければ」と話していました。



根岸教諭による講義

## 2日 地域おこし協力隊5人に委嘱状交付

地域おこし協力隊の委嘱状交付式が役場で行われ、宮坂町長が起業型地域おこし協力隊の田中克幸さん（27歳）、村上紗希さん（31歳）、福本深里さん（38歳）、地域おこし協力隊・農業支援員の小林優太さん（27歳）と市島聡さん（33歳）の5人に委嘱状を手渡しました。

田中さんは「デザインの力でまちのPRをしたい」、村上さんは「厚真町を中心に地域の魅力を発信していくライターや新しいイベント企画をしたい」、福本さんは「美容と食をつなげたコミュニティカフェをつくれたら」と意気込みを話していました。

富野地区にある担い手研修農場を拠点に新規就農をめざす農業支援員の小林さんは「メロンを育ててみたい」、市島さんは「まずは先輩の農家をたくさん見て農業を学びたい」と抱負を述べていました。

宮坂町長は「しっかりサポートするので、厚真町で皆さんの夢をぜひ叶えていただきたい」と激励しました。



左から小林さん、市島さん、宮坂町長、田中さん、村上さん、福本さん

## 2日 きれいな道路で通学を 野沢組が河川敷道路清掃

株式会社丸博野沢組（野澤政博代表取締役）の職員ら15人が、厚真大橋から厚真新橋の間の道路と厚真川河川敷のごみ拾いを行いました。

これは、同社が平成7年から入学式前とお盆前の時期に通学路である会社前の道路などを清掃していたもので、今回は初めて厚真大橋と厚真神社前の交差点も範囲に入れての実施となりました。野澤代表取締役は「交差点は町の入口になるので、今回から清掃しました。ごみのない状態ですがすがしく通学してほしいです」と話していました。



## 3日 建設協会が道路清掃

厚真建設協会（鈴木英毅会長）による上厚真市街地と厚真市街地の道路清掃が行われました。

これは、子どもたちなどに気持ちよく通学してもらおうと、同協会の会員らが昭和62年度から行ったボランティア活動。

当日は、17社約30人が参加し、冬期間にたまった砂やほこりを竹ぼうきやスコップ、送風機などを使って取り除いていました。

鈴木会長は「例年より交通量が多くごみが多いと感じました。新学期から気持ちよく通学してほしいです」と話していました。

